

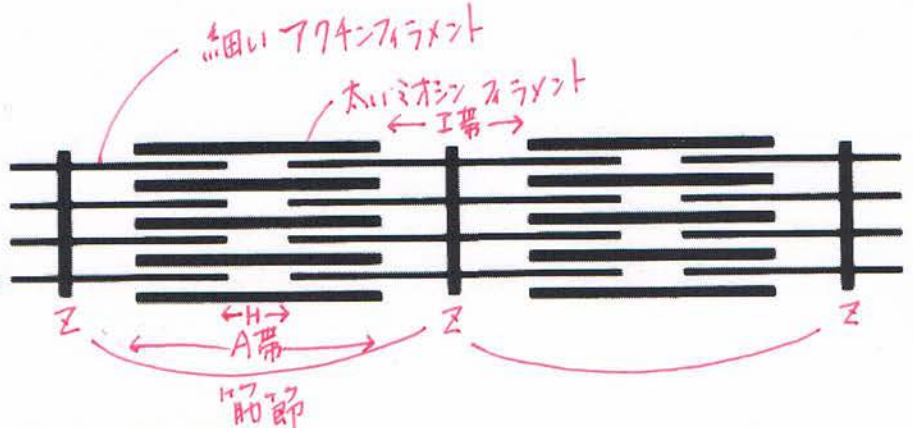
解剖学：筋の分類と構造

44-005 骨格筋の構造で正しいのはどれか。 2つ選べ。

- 筋細胞の細胞膜を筋周膜という。筋細胞膜(筋線維膜, 筋内膜, 筋鞘とモウ)
- A帯を明帯という。暗 * A帯は太いミオシンフィラメントが重なっているところなので暗く見える。
- A帯は筋収縮時に短縮する。I帯は細いアクチンフィラメントだけがあるところなので明るく見える。
- I帯の中央部にZ帯がある。
- Z帯の間を筋節という。

I帯とH帯

* 筋収縮時はアクチンがミオシンに滑り込むため、I帯とH帯の長さが変化する。



44-021 骨格筋と比較した場合の平滑筋の特徴はどれか。

- 単核細胞である。* 骨格筋は多核である。
- 横紋が見られる。ない。* 横紋が見られるのは骨格筋, 心筋である。
- 体性神経支配である。自律 * 骨格筋は体性神経支配 (Aα) である。
- 電気刺激閾値が低い。高い。
- 運動は随意的である。不随意的。

* 平滑筋は消化管や胆のう, 膀胱, 気管, 血管などにあり, 自律神経支配で運動は不随意的で, 疲労しにくい, といった特徴がある。

46-A-077 骨格筋の病理組織標本を示す。

また平滑筋は筋小胞体数が少ない。

矢印で示すのはどれか。

- 核 骨格筋細胞(筋線維)の核は細胞の中心ではなく, 周りに多数ある。
- 赤血球
- リンパ球
- 末梢神経
- 毛細血管

